

業者に依頼し、自宅の駐車場に防犯カメラを取り付けたが、取り付け位置が低すぎたため、自動車の一部分しか映っていなかった。業者に取り付け位置を変更するよう求めたところ、追加費用が必要になると言われた。

(50 歳代男性)

近年、防犯意識の高まりを受け、自宅に防犯カメラを設置する家庭が増えています。

事例のように、駐車場内の盗難・イタズラや当て逃げなどを監視することを目的とするものであれば、設置後の映像の確認が重要になります。必ず車を止めている時に取り付け、撮影範囲に問題がないか、植栽などの障害物が映り込んでいないかを確認してください。

追加費用の請求については、取り付け業者と交わした当初の契約内容を確認することになります。トラブルに遭わないためには、業者と契約条件について事前に話し合いましょう。

防犯を目的とする場合は、目立つ場所にカメラを設置することで「監視している状態」をアピールできるため、録画機能の有無や画質の良否はさほど重視しなくてもよく、場合によっては撮影機能がないダミーカメラでも犯罪抑止の効果は期待できます。

防犯カメラのニーズは、今後も高まっていくと思われます。カメラの設置者は、映像などの情報が漏えいしないよう適切に管理することや、第三者から映像の提供を求められた際に個人情報の取り扱いが問題になることにも気を付けましょう。

業者と契約トラブルが発生した場合は、最寄りの消費生活相談窓口にご相談しましょう。